



始めよう+ガーデニング 観葉植物で 室内に潤いを

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん

協力：ガーデニングショップ金久

大阪府泉佐野市日根野2545

☎072-467-2413

http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/

ベンジャミン、ゴムなどのクワ科の樹木、アレカやシロロクなどのヤシ科植物、幸福の木で知られるドラセナの仲間、サトイモ科、シヨウガ類、シダ類……。観葉植物は特定の種類ではなく、室内で緑を楽しむ

会社の玄関、家庭の居間などをさりげなく彩る観葉植物。しゃれた形や様々な色合いの葉、印象的な樹形を一年中楽しめる室内園芸の主役です。

◀モダンなガラス鉢に植えたハトス

ために選ばれた植物群。元々、欧米の長い冬に室内を飾るために用いられていました。大半が葉や樹形が季節や日長の変化に影響されない熱帯や亜熱帯原産です。比較的寒さに強く、環境の変化にも適応できる種類が選ばれています。

「長持ちさせるコツ」

○真冬でも暖かく、直射日光が強く当たらない場所を好む。南向きでカーテン越しに日が当たる室内が最適。

○春〜初秋の生育時期は、鉢底から水がしつたり落ちるまでタップリと水を与える。この時期に液肥などを与えると盛んに生育する。ただし、乾燥を好む種類も多いので、水はけを良くして停滞水を残さないことが大切。

○ポトスやベンジャミンの斑入り種など、真夏の直射日光が当たると日焼けしたり、葉が突然落ちたりする種類も多い。エアコンの利いた場所でも育つが、暑い屋外に出すようなことは厳禁。

○真冬に夜間の暖房を入れない場合は、できるだけ暖かく、昼夜の温度変化の少ない場所に置く。水やりはたまに土を湿らす程度にして生育を抑える。

植物の種類や形は違いますが、観葉植物として市販されているものは似通った環境で育ちます。一種類を上手に育てられたら、色々な植物を使って個性的な緑の空間作りに挑戦してみてください。



- 1 レックスベゴニア、アンスリウムの色を加えた寄せ植え
- 2 棚や本箱に様々な種類を並べても面白い
- 3 たくさんの鉢を集めれば気分はジャングル